

## 『技術・家庭科（技術分野）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第4校時(50分)

(2) 場 所 技術室

(3) 学年・学級 第1学年4組(25名) 使用教科書 開隆堂「テクノロジーに希望をのせて」技術・家庭(技術分野) P8～17

(4) 題 材 名 「ガイダンス 技術の見方・考え方」

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

前時まで、「技術の役割」、「身の回りの技術」について学習し、生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、技術が社会に果たす役割について一定理解できている。

## 【題材のねらい】

ここでは中学校3年間の学習活動を通して、資質・能力の育成に向けて、生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化していく技術の見方・考え方を働かせる。

## 【生徒の状況】

中学校へ入学し、学校生活において不自由のない生活を送っている。精神的に幼く、思慮深さが無い。物事を短絡的に考えるため、文房具を分解したり、粗末に扱ったりする生徒が多い。最新の製品や流行に強く興味を示す傾向があるが、技術の進歩が生活を豊かにしたり、社会に様々な影響を与えていることを感じていない。

(6) 指導計画(全10時間)

| 次(時数)           | 学習内容                                              | 活動・指導形態       | 評価計画                                      |
|-----------------|---------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------|
| 第1次<br>(1時間)    | 1 技術の役割<br>(P8～9)<br>2 身の回りの製品の技術<br>(P10～11)     | 一斉<br>個別<br>班 | 知識・技能<br><br>主体的に学習<br>に取り組む態<br>度        |
| 第2次<br>(1時間・本時) | 3 技術の見方・考え方<br>(P12～13)                           | 一斉<br>個別<br>班 | 思考・判断・<br>表現<br><br>主体的に学習<br>に取り組む態<br>度 |
| 第3次<br>(1時間)    | 4 技術分野の学習の流れ<br>(P14～15)<br>5 問題解決の流れ<br>(P16～17) | 一斉<br>個別<br>班 | 思考・判断・<br>表現<br><br>主体的に学習<br>に取り組む態<br>度 |

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。